

第 1 回丹波市男女共同参画審議会での意見・指摘事項への対応表

No.	箇所	資料・頁数 (第1回会議資料における箇所)	意見・指摘事項	対応 (第2回審議会資料における修正箇所)
1	目次	資料 3	<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標の項目の中に「男女共同参画」ではなく「ジェンダー平等」という言葉を入れてほしい。「マイノリティをなくす」という方向の計画だと見える形で示してほしい。 ・「男女共同参画」という言葉では伝えきれない重要な内容を、「ジェンダー」という言葉を使うことで社会に浸透できるという面があると思う。「ジェンダー」という言葉をどのように理解するかということも含め、この計画の中に盛り込むことは重要。基本目標 1 もしくは基本方針に「ジェンダー平等」と入れることで、忘れないようにしてもいいのではないか。 ・「男女共同参画」は条例や計画の言葉でもあるので、「ジェンダー平等」に差し替えるのではなく、追加する形で基本目標に入れるのが良いかと思う。 	→資料 4 第 4 次丹波市男女共同参画計画の体系(案)めざす姿に、「ジェンダー平等のまち」と記載しました。
2	めざす姿	資料 5	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画計画の意識を、タイトルに出していただきたい。例えば、主題を「多様性にあふれた丹(まごころ)の里」ではなく、「ジェンダー平等をめざす丹(まごころ)の里」とするなど。 	→同上

No.	箇所	資料・頁数 (第1回会議資料における箇所)	意見・指摘事項	対応（修正後）
3	基本目標3	資料4、5	<ul style="list-style-type: none"> ・資料4には「地域の中で」という文言が入っているが、資料5にはそれが入っていない。 ・見ただけで、何をするのかわかりやすくする必要があると思う。取り組みを具体的にあげるほうがよいのではないか。 ・「生活上の困難を抱える人（高齢者・障がい者・外国人など）」や、「生活上の困難を抱える人や孤立しがちな人」など、文章表現を工夫することは可能かと思う。施策・取組の具体例を挙げていく中で、文言の見直しも検討していただきたい。 ・基本目標3「誰もが安心して暮らすことができる地域社会の実現」の下に、基本方針(3)「安心安全な暮らしのための環境づくり」とあって似たような文言になっているが、基本方針をより具体的な文章にすると、推進項目でより具体的な内容が見えてくる形になると思う。例えば、基本方針に推進項目①「生活上の困難を抱える人への支援」をもってきて、推進項目①に「高齢者や障がい者、外国人等に対する支援」を上げてきたらわかりやすいのではないか。 	<p>→資料4 第4次丹波市男女共同参画計画の体系（案）基本目標3－(3)－①に「地域の中での孤立を防ぐための支援」と記載しました。</p> <p>→具体的な取組については、資料5で説明をします。</p> <p>→資料4 第4次丹波市男女共同参画計画の体系（案）基本目標3－(3)－①に「高齢者や障がい者、外国人が安心して暮らせる環境づくり」と記載しました。</p> <p>→同上</p>

No.	箇所	資料・頁数 (第1回会議資料における箇所)	意見・指摘事項	対応（修正後）
4	共通	—	<ul style="list-style-type: none"> ・「ジェンダー平等」とは、「単純に性別でいろいろなことを分けない・決めない」ということで、「1人の人間として、いろいろな選択ができる」ことだと思う。性的指向についてまで考えると大変だと思うので、「みんなを協調する多様性＝ジェンダー平等」という視点で、計画を進めていただきたい。 ・女性が社会で活躍できる施策を土台として支えるうえで、人権的な平等感が必要であり、その中の1つがジェンダーであると理解している。社会で実際に施行されているいろいろな施策との兼ね合いをしっかりとつくるというか、そういう意識をもって使っていくようにしなければいけない。例えば、性の多様性が広まっても、受けられる施策がそのありようによって変わってくるかという、そうでない場合もある。そのような部分が重要だと思う。 	→ジェンダー平等や男女共同参画のための計画であることを念頭に置いて、計画策定を進めていきます。